

第一三共の強み

第一三共グループは、「サイエンス&テクノロジー」、「グローバル組織&人材」および「日本でのプレゼンス」の3つの強みを活かしながら、持続的な企業価値の向上に取り組んでいます。



サイエンス&テクノロジー

当社グループは創薬型企業として長年引き継がれてきた質の高いサイエンス&テクノロジーを有しています。これからもサイエンス&テクノロジーを活用し、革新的医薬品を継続的に創出してアンメットメディカルニーズを満たし、グループの持続的な成長を図っていきます。

創薬型企業として長年引き継がれてきた強力な研究開発のDNA

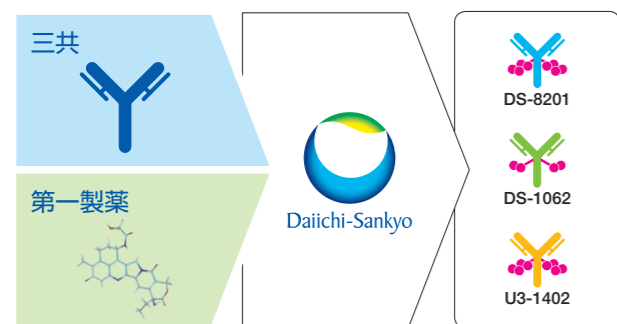
当社グループは創業当初から日本発の創薬型企業を目指して自社創業にこだわってきました。その中で、プラバスタチン、レボフロキサシン、オルメサルタン、エドキサバン等画期的な自社創業製品を世界の患者さんへ届けました。このように長年に亘って磨かれ、引き継がれてきた強力な研究開発のDNAを活かしながら、SOC*を変革する革新的医薬品の創出に日々取り組んでいます。

* Standard of Careの略。現在の医学では最善とされ、広く用いられている治療法

革新的医薬品を創出する最先端のサイエンス&テクノロジー

■ 当社独自の抗体薬物複合体(ADC)技術

当社独自のサイエンス&テクノロジーの結晶であるDS-8201では、抗体部分に旧三共で培われた抗体研究の強み、薬物(ペイロード)とリンカー部分に旧第一製薬の研究力が活かされています。研究者が先行品の利点と課題を徹底的に調べ、先行品の課題を解決すべく、抗体・リンカー・ペイロードを組み合わせ、スクリーニング、最適化することで、現在の技術が生まれました。当社のADCは、リンカーとペイロードをさまざまな抗体と組み合わせることが可能なプラットフォーム・テクノロジーとして確立できたと考えており、現在7つのADCプロジェクトがあります。



■ 多彩なモダリティ技術

当社グループは革新的医薬品創出に向けて先進的なモダリティ技術の開発および活用に取り組んでいます。次世代ADC、核酸医薬、遺伝子治療、細胞治療、LNP-mRNA、糖鎖修飾等、多彩な革新的モダリティを活用することで、創出力を高めています。



■ 強力なリサーチエンジン

事業拡大に繋がる自社創業には、豊富な経験に基づく高い専門性を有する研究者が必要です。当社グループでは、研究者個人が獲得したノウハウや成果を共有し、さらにその成果に磨きを掛ける文化が定着しています。研究者達のこのような努力によって、近年、サイエンスに対する目利き力に一層磨きがかかり、それが組織としての力の源泉になっています。また、科学的な議論においては、専門性や職位等に関係なく、自由な意見交換を行う風土があり、これらの文化・風土がイノベーションの追求や、革新的医薬品の創出に向けた研究へと繋がっています。

■ アカデミアとの協働関係(オープンイノベーション)

当社グループは、SOCを変革する革新的医薬品の効率的かつ継続的な創出を目指し、自社創業に留まらず、外部創業ネットワークの拡大や多様なイノベーション・ソースの確保等、多くの取り組みを行っています。一例として、研究公募プログラムTaNeDSにおいて埼玉医科大学 片桐教授との共同研究より見出したDS-6016(抗ALK2抗体)は、進行性骨化性線維異形成症(FOP)という希少疾患の治療薬として、AMEDのCICLEプログラムも活用しながら、現在臨床試験開始に向け準備を進めています。



グローバル組織&人材

グローバルに事業を展開する当社グループでは、幅広い経験を持つグローバル人材が、多様性のあるグローバル組織で活躍しています。今後も価値創造の基盤となるグローバル組織&人材の強みを活かして持続的な成長を図っていきます。

グローバル人材の獲得とリーダーの育成

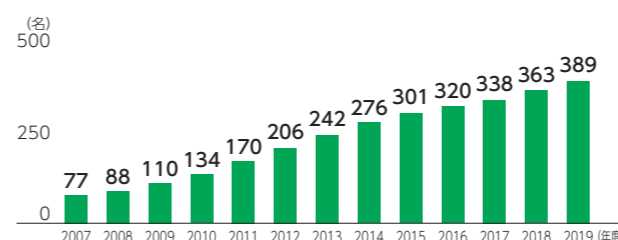
当社グループでは、年齢や国籍を問わず最適な人材がリーダーとして活躍することを目指しており、幅広い経験を持つ人材を社内外から積極的に獲得・登用しています。また、リーダー候補人材に対しては、ストレッチした目標や難易度の高い職務、海外出向や留学等の機会を与えるとともに、階層毎のリーダー人材育成研修を通じて、リーダーシップやグローバル視点で判断する能力を育成しています。

迅速、的確な意思決定のためのグローバル経営体制

当社グループでは、バリューチェーンにおける機能軸と事業における地域軸を組み合わせ、グローバル経営体制を構築しています。例えば研究開発プロジェクトに関する意思決定機関であるGEMRAD*1では、研究開発のみならず幅広い専門機能のシニアメンバーが、サイエンスとビジネスの観点から迅速な意思決定を行っています。また、CEOが議長を務める最上位のグローバル会議体であるGMC*2では、主要な機能・地域の責任者が、全社的な視点から戦略・方針を議論し、的確な意思決定を行うことで、グループ全体の価値創造の最大化を図っています。

*1 Global Executive Meeting of Research and Developmentの略
*2 Global Management Committeeの略

日本から海外グループ会社へ新規出向者数(累計)



日本でのプレゼンス

当社グループでは、医療・医薬品に関する誠実な情報提供活動を行っており、医療現場から信頼できるパートナーとして評価されています。国内トップクラスの営業力、高品質な医薬品の継続的な提供等を通じて確立した日本でのプレゼンスを一層高めることで、持続的な成長を図っていきます。

持続的な成長を実現するビジネスモデル

自社開発品の継続的な上市・売上拡大を図り、幅広いポートフォリオでイノベティブ医薬品*1事業を成長させ、質の高い営業力を活かして、良質な導入品を多く獲得し、さらに成長する好循環の継続を通じて、日本市場で医療用医薬品の売上シェアNo.1を継続しています(4年連続*2)。

*1 特許や再審査期間によって独占販売期間が保護されている医薬品
*2 エンサイ株式会社による調査

質の高い営業力

医療関係者毎のさまざまなニーズをマルチチャネル*1で充足することにより、医療現場からのMR評価No.1を得ています(8年連続*2)。また、MR認定試験において、充実した研修の実施により、受験者全員が合格しています(10年連続)。

*1 MR活動を中心に、講演会、Webセミナー、インターネットの活用等
*2 株式会社インテージヘルスケアによる調査

多様な医療ニーズに対応する4事業展開

日本においては、イノベティブ医薬品事業の強みを活かし、ジェネリック医薬品事業、ワクチン事業、OTC医薬品関連事業を加えた4つの事業を展開しています。治療、医療費軽減、予防、セルフメディケーションといったさまざまな医療ニーズへ広く的確に対応することにより、名実ともに日本No.1カンパニーとして、日本の医療に総合的に貢献しています。

